

Think globally, act locally !



京都協立病院 総合診療専門研修施設案内

京都民主医療機関連合会



医療資源の乏しい地域にある研修施設

01.京都協立病院の概要



京都協立病院 院長 玉木 千里
京都北部総合診療専門研修 プログラム統括責任者

総合診療の研修に最適なフィールドと恵まれた教育環境であなたも一緒に地域密着型の総合診療研修をしませんか？

1.1 当院の特徴

当院は人口3万4千人の綾部市にある99床の地域密着型病院です。当院の地域における役割は高齢者の幅広いニーズに対応できる総合診療と地域の拠点として機能するリハビリテーションの提供です。

4階病棟（急性期一般18床・地域包括ケア34床）では、急性期、亜急性期、ポスト急性期、及びレスパイト入院などの多様な病期の患者さんを受け入れております。ここでは、臓器や性別、年齢などで区別をせず、総合診療医がスタッフと協力して全人的な医療とケアを提供しております。

3階病棟（回復期リハビリテーション47床）では、地域で最も多くのスタッフを擁し、綾部を越えた中丹地域から脳卒中や脊髄症、運動器疾患、廃用症候群の患者さんが集まってくる基幹病院として機能しています。

一方、外来機能としては、総合診療外来の他に一般外科、整形外科、皮膚科などの一部専門外来、および一部総合診療医も担当する小児科外来の他、在宅診療機能も有しております。

また、当院はWHOのHPH（Health promoting hospital and health services）の加盟病院（<https://www.hphnet.jp/list/list.html>）であり、地域の医療機関および地域住民と手を携えて、地域住民の健康増進と健やかなまちづくりに貢献するべく積極的な活動を行っているのも特徴の一つです。

綾部は京都府のちょうど真ん中に位置する内陸地で、豊かな自然に囲まれた地域です。当院周辺にはのどかな田園風景が広がっています。少し足を伸ばせば日本海へのアクセスも良好で、アウトドアが好きな方、これから始めたい方にも適しております。住民のみならず大変穏やかで、人なつこい方が多く、医療を置いてこちらが癒やされる場面も多々あります。近畿からなら車で概ね2時間以内に来られる当院で、地域に癒やされながら質の高い僻地の総合診療の研修を受けてみてはどうでしょうか？是非ご検討ください。



1.2 研修に魅力的なフィールド

綾部地域には専門医療機関数が限られるため、総合診療医は主治医としての広範な地域ニーズに応えることが求められています。このような環境は、総合診療医としての役割を発揮し、成長するには絶好のフィールドと言えるでしょう。

さらに、教育の面においても魅力的なフィールドと言えるでしょう。当院は京都家庭医療学センター (<http://www.kcfm.jp/>) の研修施設としてこれまで多くの総合診療専門医を排出してきた実績があり、病院スタッフおよび地域の関連診療所・看護介護事業所、そして地域の患者さんにも総合診療医の教育と育成に理解と協力を頂いております。

HPH活動の一環として、地域住民による「健康友の会」とも協同して、地域住民のヘルスリテラシー向上とまちづくりの企画にも研修医には参画してもらっています。そして何より海外でのFaculty Development (指導医養成プログラム) を修了し、Think globally, act locallyを実践する指導医の熱い指導を受けることができるのも大きな魅力でしょう。



1.3 当院の研修のこだわり

当院では、質の高い医療を提供し、地域住民の健康増進やまちづくりに貢献し、スタッフと住民から慕われる心優しい頼りになる総合診療医を養成するために、次の3点に徹底的にこだわります。

1. 実践的省察ができる医師を育てます
徹底的に自己省察を奨励し、プロフェッショナリズム教育を実践することで、社会の要請に応えられる能力を有し、自律した「医師」として常に高いレベルを目指し続ける医師を養成します。
1. 医療の質にこだわります
日常診療においては医療の質にこだわり、あらゆる領域において一定の水準を超えた医療の提供が実践できる医師を養成します。特に高齢者・認知症診療、多職種連携、リーダーシップ、地域志向ケアといった分野において優れた能力を発揮できる人材を育成します。
1. 研究者としての視点も育みます
リサーチ・クエスチョンから研究を企画し実行することができる医師を養成します。京都協立病院の所属法人が京都大学大学院医学研究科社会健康医学教室と提携しており、臨床研究者を養成する土台が整備されています。

To the senior residents

Why don't you join in our Northern Kyoto General Practitioner Training Program?

Please come to us and be a doctor to be able to provide high quality general medical practice so that people in the community can be much healthier and wealthier!



02.指導医の紹介

◆
指導医の紹介



玉木 千里(たまき ちさと)

京都協立病院 院長
京都北部総合診療専門研修プログラム統括責任者
日本プライマリ・ケア連合学会認定医・指導医
日本内科学会認定医、総合内科専門医・指導医
日本リハビリテーション医学会 専門医
指導医養成フェロシップHANDS-FDF2008修了
ミシガン州立大学”Methods in Family Medicine Educational Fellowship”修了
2011年慈恵医大「プライマリ・ケア現場の臨床研究者の育成」第2期フェロシップ修了



門 祐輔 (もん ゆうすけ)

京都協立病院 医局長
日本プライマリ・ケア連合学会 認定医・指導医
日本内科学会 総合内科専門医・指導医
日本リハビリテーション医学会 専門医・指導医
日本神経内科学会 専門医・指導医



寺本 敬一(てらもと けいいち)

ふくちやま協立診療所 所長
日本プライマリ・ケア連合学会認定医・指導医
認知症サポート医
オーストラリア メルボルンにて家庭医研修修了 (GPEA (General Practice Education Australia) トレーニング)

03.京都協立病院学会等施設認定

総合診療専門研修認定病院 (医療資源の乏しい地域)

基幹施設：京都北部総合診療専門研修プログラム

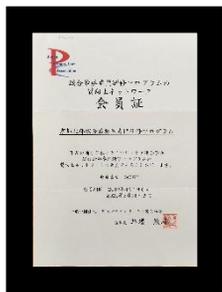
厚生労働省指定協力型臨床研修病院

日本プライマリ・ケア連合学会認定家庭医療後期研修プログラム認定施設

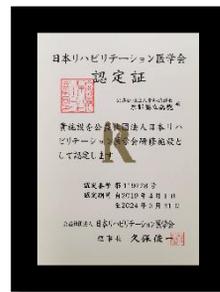
日本リハビリテーション医学会研修施設

日本内科学会認定内科専門研修プログラム認定施設

日本静脈経腸栄養学会・NST (栄養サポートチーム) 稼働施設



総合診療専門研修プログラムの質向上ネットワーク



日本リハビリテーション医学会研修施設認定証

04.総合診療・家庭医療専攻医の紹介



“患者さんのこれから”も見通す診療

2018年度 総合診療専攻医1年目
前川 高洋 医師
近畿大学卒

京都協立病院での研修を選んだ理由の一つは、まず、自分が本当に総合診療、または家庭医の道を目指すに当たってこれからどのような事が自分にとって必要なのかを知る為でした。私は大学病院で初期研修を終えて今の京都協立病院に来ました。大学病院ではほぼ全ての科が揃っており、他科の病気は他科へコンサルトして任せっきりといったことが多かったのですが、受け持ちの患者さんに説明する時にはいつも歯がゆい気持ちが残っていました。また、患者さんやご家族などと密に接して、一緒に患者さんのこれからを考えて行くという過程はなかなか大学病院では学べる事は多くなく、ここ京都協立病院での医療はまさにこれら全てが必要となる絶好の場所であったと考えています。ここへ来て、自分で複数の科にまたがる疾患を診て、医療スタッフ、リハビリスタッフ、地域連携スタッフ、ケアマネジャー、家族の方々、そして患者さんと相談しながら治療を進めて行く医療は自分にとっては理想の医療であり、そのような医療を実践できるこの場所は医師として一番大切なものを提供してくれる場所なのではないかと感じています。



地域医療の現場で「魅力」発見！

2018年度 家庭医療専攻医3年目
池田 徹 医師
京都市立医科大学卒

京都協立病院は、さまざまな魅力がぎっしり詰まった病院です。たとえば、病床機能面では、さまざまな症例を経験することができる一般病床だけでなく、地域包括ケア病床や回復期リハビリテーション病棟もあり、急性期の治療を終えられた患者さんが住み慣れたご自宅や介護施設に退院されるまでのプロセスを診ることができます。また、ふくちやま協立診療所では、訪問診療も週1単位受け持っており、病院を退院された患者さんが、その後のような暮らしをされているのか、切れ目のないライフスタイルをみることもできます。家庭医や総合診療医を志すジェネラリストにとっては素晴らしい研修環境だと感じます。今も懐かしい里山の景色が残り、ゆったりと穏やかな時間が流れているこの病院は、魅力あふれる病院です。



05.研修マップ

◆
研修マップ



病院理念

1.安心安全の医療・福祉を推進します

私たちは、地域連携を大切に、総合的に医療・福祉を提供し、地域の患者様の健康に責任を持ちます。

私たちは、情報を公開・共有し、安心安全の医療・福祉を推進します。

2.人権尊重・無差別平等の医療・福祉を提供します

私たちは、いつでも、だれもが安心して必要なサービスが受けられるよう、人権を尊重し、無差別平等の医療・福祉を提供します。

3.平和を守り、社会保障を発展させます

私たちは、医療従事者の良心にかけて平和を守り、権利としての社会保障制度を発展させます。

私たちは、患者様や地域の皆様、諸団体と共に、人間の尊厳が大切にされるまちづくり運動をすすめます。



Kyoto Health Association
Since 1956

公益社団法人京都保健会 京都協立病院

〒623-0045 京都府綾部市高津町三反田1番地

TEL.0773-42-0440 E-Mail.ikyoku-jimu@kyoto-kyoritsu.org

問い合わせ:医局事務課 吉田



ISO9001:認証取得

京都協立病院 ホームページ

京都協立病院



Facebook 医局・研修ページ

